

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人 白山会

目 次

- 1 施設概要
- 2 施設理念・基本方針・事業目標
- 3 平成28年度法人計画に対して
- 4 理事会・評議員会
- 5 会議・委員会活動報告
- 6 消防訓練について
- 7 年間行事報告
- 8 施設内研修
- 9 施設外研修
- 10 ボランティア報告
- 11 今年度の振り返り
- 12 その他

施設概要

1 施設の名称及び種別	特別養護老人ホーム星久喜白山荘 指定介護老人福祉施設
2 所在地	〒260-0808 千葉市中央区星久喜町152番地2 <u>TEL:043-209-1500 FAX:043-209-2200</u>
3 経営主体	社会福祉法人
4 事業開始	平成21年4月1日
5 管理者	平山 格
6 定員	50名
7 協力病院	千葉中央メディカル 柏戸病院
8 施設の規模	(1)敷地面積:1,771m ² (2)延床面積:2,472m ²

施設理念

「安心」「安全」「健やか」の理念

星久喜白山荘は、ご利用者様との信頼関係を築きあげるとともに、ご利用者様にとって安全な環境と安全な身体介助を提供し、心身ともに健やかで安心した日常生活が送れるように援助し、介護支援をいたします。

基本理念

- 1 ご利用者様を人生の先輩として敬い、ご利用者様の立場に立ち、ご利用者の人格を尊重します
- 2 ユニットケアを実践し、個別対応を大切にいたします
- 3 介護現場に携わる専門職として意識を持って関わります

運営の基本方針および事業目標

施設を取り巻く環境がより一層厳しいものとなり、今後施設運営にあたって効率的で効果的な運営を目指す事が要求されていく中で、真にサービスを必要としている人々に対してその方がその人らしく安心して生活をしていただけるよう、職員一人一人がご利用者様のニーズを丁寧に確認し、その方の生活全体を支えると言う視点から人間性や尊厳性、その思いを組み込んだケアプランを作成するとともに、これからを実現できる体制として各専門職の連携を強化したサービス低異教体制を構築していく。

平成28年度法人計画について報告

カフェ スペースについて

平成28年度の大きな目標として、本年度中に星久喜白山荘内ロビーを利用し近隣の高齢者の方やそのご家族の方を対象に「なごみカフェ」を始めたいと思い、職員や地域の民生委員の方に相談しながら計画をしてきましたが、本年度は開催する事ができませんでした。

平成29年度オープンに向けて現在、千葉市社会福祉協議会のご担当者の方や地区連合会の方、地区民生委員の方と少しずつではありますが、話を進めております。

平成29年度の秋を目処に始められるよう、職員一同計画をたて、地域の方々のお力をお借りしながら進めていきたいと思っております。

平成28年度理事会・評議員会開催状況

理事会

開催日	議案
H28.5.24	平成27年度決算の件
H28.8.9	徳和会合併の件
H28.9.24	徳和会合併の件
H28.10.18	平成28年中間決算報告 徳和会合併の件
H28.12.24	徳和会合併の件
H29.3.25	平成29年度事業計画 平成29年度予算の件

評議員会

開催日	議案
H28.5.24	平成27年度決算の件
H28.10.18	平成28年度中間決算の件 徳和会合併の件
H29.3.25	平成29年度事業計画の件 平成29年度予算書の件

H28年度・各会議と委員会活動報告

会議・委員会名	開催	構 成 人 員 等
安心安全委員会	毎月7日	施設長・事務長・生活相談員・看護主任・介護主任・フロアリーダー・管理栄養士
リーダー会議	毎月7日	施設長・事務長・生活相談員・看護主任・介護主任・フロアリーダー・管理栄養士
		各ユニットリーダー
フロア会議	月1回	フロア全体の職員・介護主任・生活相談員
ユニット会議	月1回	ユニットの職員・介護主任・生活相談員
事故対策会議	都度	施設長・事務長・生活相談員・介護主任・ユニット職員他
資質向上委員会	月1回	介護職員のスキルアップを図るため、外部・内部の講師をたて研修を行う
振り返り	<p>定期的な開催は行えたが、議題に関する発言に乏しかった。</p> <p>意味ある会議にするため、サービスの向上をするためにも一人一人の意見がとても大切になってくると思うので、「会議を開けばいい」「参加すればいい」の気持ちから変えることが必要だと感じました。</p> <p>有効活用できる場にしていきたいと思います。</p>	

【資質向上委員会】	内 容	担 当
第1回	職場を明るくするコミュニケーションの基本技法研修(外部)	藤野知良先生
第2回	摂食・嚥下障害と食事介助について	管理栄養士
第3回	職場で行えるリハビリ(リラクゼーション)	看護師
第4回	介護に求められる処遇・マナー	DVD鑑賞
第5回	救急・急病怪我等職員に求められる能力	看護師
第6回	地震・火災・天災時の対応	今田進
第7回	口腔ケア	今田・海保
第8回	高齢者のリスクマネジメント(外部講師)	斎藤有弥
第9回	感染症について	看護師
第10回	失禁・湿潤と褥瘡の関係について	排泄・褥瘡委員会
第11回	入浴の介護について(DVD鑑賞)	DVD鑑賞
第12回	オムツの当て方(再確認)	カミ商事

処遇改善加算に伴う、資質向上委員会ですが毎月1回行いました。

職員全員を対象に介護力向上にむけて、施設内研修に取り組みました。

H28年度委員会活動報告

給食委員会

日時	議題	内容
4月25日	行事食等について	①5月の行事食について 1日の昼にゆかりご飯 お刺身の盛り合わせ・茶碗蒸し・白和え フルーツ・すまし汁を予定。 ②利用者様の対応について ③その他
5月24日	行事食等について	①6月の行事食について 5日の昼にご飯・ナス揚げ浸し 3点盛・茶碗蒸し・冷静スープ・フルーツを提供します。 ②利用者様の対応について ③その他
6月29日	行事食等について	①7月の行事食について 17日の夕食に提供します(納涼祭) 焼きそば・唐揚げ・串付きフランク・ポテト・デザートです。 7日におやつバイキング、8日にそうめんを提供します。 ②利用者様の対応について ③その他
7月30日	行事食等について	①8月の行事食7日の昼に、ゆかりご飯・夏野菜と海老の天ぷら 卵豆腐そうめん・人参の白和え・フルーツ・すまし汁提供。 ②利用者様の対応について ③その他
8月26日	行事食について	①9月の行事食について 17日に ちらし寿司・茶碗蒸し 白和え・フルーツ・すまし汁を提供。 ②利用者様の対応について ③その他 お粥・栄養ムースの提供量にばらつきがあるとのこと なので、統一していきたい。
9月30日	行事食について	①10月の行事食について 2日の昼に ゆかりご飯・エビと 秋野菜の天ぷら・茶碗蒸し・白和え・フルーツ・すまし汁を提供。 ②利用者様の対応について
10月25日	利用者様の対応について	①対応について
11月24日	個々の対応・食事について	①利用者様の対応について ②食事について 主菜の味付けが濃いことがあるとのこと なので、味付けを調整していく。 ・主食にパンを時々召上がりたいたいとのことなので、回数を 増やしていく。 ・アジフライを形も切って対応しているが、そのまま対応していく
12月22日	利用者様の対応・食事について	①利用者様の対応について ②食事について ・お粥の固さがまちまちなので統一できるようにする ・12/28のおやつはどら焼きを提供 ・バイキングに提供するジュースのうち炭酸は各階500mlで で良い。それと他のジュースを提供。 ・1/1のおやつ甘酒を提供するときにスープカップを一緒に提供

給食委員会

日 時	議 題	内 容
1月29日	利用者様の対応・行事食について 食事について	①利用者様の対応について ②行事食について ③食事について

入浴委員会

日 時	議 題	内 容
4月12日	①今年度の目標 ②入浴剤について ③入浴者の変更 ④その他	①安心・安全・笑顔になってもらえるような入浴にしよう。 ②入浴剤は色々なものを試してみたいので利用者様の反応や職員から意見を徴収する。 ③個浴・特浴の入浴表が変更になりました。 都度入浴委員で変更。 ④委員会は3ヶ月に1回。
8月19日	①掃除用具の購入 ②キャスター交換	①個浴の床や排水溝の清掃(職員)特浴室の清掃(庶務) スチームクリーナーを購入。浴室の他にもフロアのシンク汚れや排水口の清掃にも使用できる。 大切に使用すること。 ②特浴室の洗体台のキャスターを交換。

身体拘束委員会

日 時	議 題	内 容
4月12日	①新年度の委員会の運営 ②新年度委員長へ引き継ぎ ③内部研修について ④現状の各階における身体拘束の状況報告	①・② 前年度と同様に委員会活動を開催する。新委員長選任。 ③第1回目の研修は7月に予定。 ④現在、身体拘束の実態なく、今後も行う予定はない。 本年度の目標も「身体拘束ゼロ」の継続
9月12日	①委員会の運営について ②内部研修の実施 ③現状における身体拘束の状況報告	①委員長を中心に内部研修会を10月と3月に開催予定。 研修の打ち合わせを含め3ヶ月に一回程度の委員会を開催。 ②施設内研修 ・10月頃「虐待について」などを中心に実施 ・外部研修等に積極的に参加することで、スキルアップに繋がる。 ③現状報告 現在身体拘束の実態はなく、今後も全職員が意識を持つことが大切。

ボランティア委員会

日時	議題	内容
5月10日	①今年度の目標 ②活動内容 ③年間行事	①目標「多くの利用者に参加してっもらい、楽しんで頂く」 ②活動内容 定期 (アコーデオン・演奏会・傾聴ボラ・フラダンス・カラオケ) ③年間行事 新年会・納涼祭・敬老会・クリスマス会等
10月17日	①行事予定連絡 ②その他	①クリスマス会 担当決め。午後各階で実施するレクも考えておく。 餅つき 詳細決まり次第連絡 新年会 午後ボランティア&各階レク ②その他 職員の周りでレク等を実施して下さる方がいたら、積極的に誘って下さい。
12月27日	①新年会について ②今後の活動について ③その他	①新年会について各階毎に催し物 ②今後の活動について 2/3節分 3/3ひな祭り ③その他 外部ボランティア(フラ・演奏会)職員もなるべく参加するように 来年度の引き継ぎ

排 泄 委 員 会

日時	議題	内容
4月19日	①新年度の委員会運営にあたって ②内部研修について ③紙おむつの発注について ④新年度委員長へ引き継ぎ ⑤その他	①新年度運営 各フロアで発注し、月末の使用枚数計算等の引き継ぎを依頼。 ②内部研修は年2回、上半期と下半期に行う。内容については検討中。 ③早めの発注を依頼 ④引き継ぎを行う ⑤試したいオムツがあるのでサンプルとして依頼してみる
6月20日	①施設内研修について ②その他	①上半期の施設内研修は業者(メーカー)に連絡し内容を確認する。9月以降に行う。 ②問題点が発生したら委員へ報告し検討する。

平成28年度 消防訓練

第1回目・・・自衛消防訓練(日中想定)

第二回目・・・消防設備機器操作

第3回目・・・自衛消防訓練(夜間想定)

} 別紙参照

※ 事業所主体による自主訓練を行いました。

管 理 部 門

①採用活動

学校訪問を計画どおりできず、29年度の新卒採用に至りませんでした。

広告等を出しても人は集まらず、新卒だけでなく経験者の採用も難しかったので、再度計画を立てて行きたいと思います。

②介護力向上

施設外研修・施設内研修ともに介護力向上を目指し、人が居ないにも関わらず参加や開催ができたと思います。また、外部研修に参加した職員が施設内で研修を行い、いつも課題であったフィードバックが本年度は徹底できました。活用してもらいたいと思います。

本年度は大きな事故や苦情もなく職員全員でサービス向上を目指し一つ一つ問題をクリアし連携を取りながら業務を行えました。

生 活 相 談 員

ご利用者様、ご家族様の意向を確認しながら施設での生活がより良いものとなるように心がけながら努めてまいりましたが、各職種及び担当職員への情報伝達や周知徹底がなされていない事があり、円滑な連携が図れない場面がみられました。

また、管理面においては21件の口腔維持加算、4件の療養食加算を新規に算定する事が出来た反面、入所退所では入院等による空室を有効活用出来ず、稼働率の低下を招いてしまった事が反省点として挙げられます。

来年度は上記の2項目について、より重点的に取り組んでいきたいと思っています。

介 護 支 援 専 門 員

入所待機や入院により空床をショートステイで補えることができなかつた為、今後地域の居宅介護支援事業所のケアマネージャーい状況に応じて利用を検討していただけるよう空床の状況をご案内し、利用者様の獲得につなげていければと思います。

また、施設外での介護支援専門員の資格向上の研修に参加させていただき様々な事例内容を通して多くの情報を得て知識を深めることができました。

管 理 栄 養 士

今年度は、行事食にうちではメニューが基本の形が出来ているのでより良いものを提供するため、少しずつ変化させた。(小鉢、デザート等)

普段の食事については常食の人は豚の生姜焼きの肉を以前は豚肩ロース小間だった物を豚肩ロース薄切りにするなど普通の家庭で食べる様な形態で提供する。ソフト食については、より食べやすく見た目も美しく提供するために食材の形、調理法を調理師と相談しながら工夫した。そして、施設の収入を得るため経口維持加算、療養食加算をできる限り件数を増やすことができた。

調 理 師

効率より動きが良くできませんでした。それぞれの時間配分を考えて作業していかなければご利用者様への提供時間が遅れてしまう原因にもつながってしまいました。きちんとした調理をしていくためにも、もう少し周りを見回して適応していくことが大切だと思いました。

提供する料理の品質や安全性、衛生管理は問題なかったと思います。

看 護 部 門

入居者様の状態把握、異常の早期発見については十分にできたと思います。

職員教育に関しては、なかなか時間を作ることが出来ず資質向上委員会の施設内研修のみにとどまってしまった。個別(経験・資格等)対応につなげていくことが難しかった。

他部門、職員間の連携・問題の早期解決に努めたが、随時ミーティングを開催し具体的に解決していくことが必要と感じました。

介 護 部 門

●介護主任

入居者様が安心して楽しく毎日過ごしていただく為に、レク等多く取り入れ多くの入居者様に参加していただきと思ってきました。ボランティアによる催しも月7回また、傾聴ボランティアさんも協力していただき楽しいひと時を過ごせたかと思いますが、各ユニット毎の職員によるレクが少なかったと思います。一人一人の職員がもう少し入居者様に寄り添い、声かけをし自然に楽しい時間を作って行けたらいいと思います。

また、多くの施設外犬種、施設内研修にも参加された職員がなかなか研修報告書を提出されない事があったため次年度はこちらからも声をかけ提出してもい他職員にも伝えていきたい思います。

●1丁目ユニットリーダー

1Fでの通常業務にて(例)排泄介助の対応について「入居者様A氏排泄終了コールを受けて居室に向かう」ご本人より「トイレでできるのはとても良い」とのお言葉があった。その言葉に対し、深く考えもなく通常の介助業務”安全第一のみ考えて”を行っていた。しかし、一連の流れでのご本人へのアプローチ・声かけ・ボディータッチ等の介護手順を含め「その担当する者が個人の尊厳を保持し、その有する能力及び適性に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、常にその者の立場に立って誠実にその後生むを行わなければならない。」介護理論より再度認識を持って業務及び接遇に努めなければいけないと思います。

●2丁目ユニットリーダー

「安心・安全・すこやか」な介護に取り組みました。

当ユニットは利用者様の年齢層が60歳代から100歳を上回る方までと年齢層の振り幅が大変大きいユニットであり利用者様のADL状態も実に様々です。その人の年齢にふさわしい個別な接し方をするよう心がけました。利用者様にとって日々変わる対応に加え、季節・嬢ったいに合わせて衣類を選ぶ、寝具を調整する等配慮に十分注意してきた事については目標達成できたと思います。

●介護主任兼3丁目ユニットリーダー

研修等に参加させていただき、個人の考え方ひらめきなど介護技術や指導方法の向上になったが、ケアマネの資格取得の努力が不足していた。施設内での職員の指導、教育等自分の知識や経験をスタッフに説明、意味を伝えきれず、話す時間が少なかった。

●5丁目ユニットリーダー

5丁目の入居者様は一部介助を要し、職員は声かけや見守りを中心にケアを行っています。日々の生活の中でADLが変化していく入居者様いできるだけ快適に過ごしていただけるよう各職種と連携し、毎月のフロア会議で話し合いを行いました。病気や症状に合った声かけ、会話をし、コミュニケーションを図り、少しずつ入居者様と関係を築いた一年でした。

●6丁目ユニットリーダー

今年度は、フロアで行うレクリエーションは利用者様にとって満足していただけたと思い反面、個別のレクリエーションは積極的に行うことができませんでした。

安全面では転倒・転落事故が起きてしまい、いずれも職員の見守り不足による事故でした。それ以外では、入居者様の異変等に気づいたらフロア職員、看護師と連携し情報の共有・対応ができたと思います。

●7・8丁目ユニットリーダー

報告・連絡・相談は職員同士である程度できていたと思います。そのため、入居者様のリスクについては、本年度で服薬ミス少し目立ったように感じられ、職位同士での確認チェックがしっかりできなかったようです。

職員が意見を出しやすい雰囲気、環境を作ることができました。

給食委員会

今年度は利用者様に食事を楽しみにして頂けるといった点で、おやつは月末にバイキングとジュース
寒い時期には甘酒を提供するというのを始めた。

食事形態に関しては、常食は普通の方の食事に近いものを提供し(例:生姜焼きの肉と豚肩ロース小間
から薄切り肉に変更する)ソフト食は、より安全に食べやすく(例:イモ類は柔らかく煮た上でつぶす)
当施設の方に合わせ提供を変えている。

そして、食携帯の個人的な対応をニーズに合わせてできたと思う。

防火委員会

防災意識を深める為に、職員対象で内部研修を行いました。

避難訓練を行い、職員に防災意識を少しは感じてもらいましたが、実際に避難が必要となった
時に、訓練の様な対応ができるよう本格的な訓練には至らなかったことが反省されます。

褥瘡委員会

「体位交換・除圧をしっかり行い褥瘡予防に努める」について

体位交換、除圧等は日中、夜間ともに意識しながら行い、委員会活動でも褥瘡になりそうな方
等の調査も行った。

クッション等を利用し除圧をこまめに行うように周知した。

排泄委員会

平成28年度は「スキントラブルをなくす」を目標にしました。

施設内研修では、上半期におむつメーカーの開発部の方を講師にお呼びして「おむつの当て方」
「注意点」を職員にレクチャーしていただきました。商品を作っている現場の方が説明してもらった
正しい当て方を職員に知ってもらうことができました。

下半期では褥瘡委員会と合同でスキントラブルについての研修を行いました。おむつかぶれの
原因や清潔、皮膚保護の重要性について説明を行いました。

入浴委員会

日によって入浴者数のばらつきが見られたため、負担が片寄ってしまうことがあった。

入浴専門パートさんが入職され午前中にも特浴を行うことができるようになり、午後の時間に
ゆとりができました。

入浴中にリラックス効果を考えて音楽を流すことを実践したが、数日で終了しました。

入浴剤に関しては、スタッフの持ち回りで都度購入していたが、今回初めて業務用を購入。

コスト削減や在庫管理をしなるべく無駄が無いよう使用していく。

事故対策委員会

28年度の目標「危険予知能力を高め、事故を未然に防ぐ」でしたが、委員会として具体的にどのように予知能力を養っていくか等の方法を周知できなかったため、結果防げたはずの事故が起きてしまいました。特に転倒事故は多く、転倒による骨折等ありそれらの事故も一度転倒したことがある利用者様が多く、対策を考えるのですが、再び転倒事故が起きてしまい対策が不十分であったと思うことも多くありました。

服薬事故も多く、ダブルチェックをすれば飲み忘れを防げたのに、できていないことによって事故が減ることなく、続けて発生してしまいました。

口腔委員会

28年度の目標は「職員の口腔に対する知識を高める」で内部研修等で職員に口腔に対する知識を教えることができました。

本年度は看護師の協力のもと、口腔体操も各フロアで行うようにしました。

「パタカラ体操」等、食事前に行うよう周知しこの年度末ではすべてのフロアで行われています。

ボランティア委員会

定期的に来ていただいている傾聴やカラオケ等のボランティア様には引き続き依頼し年間を通じてご協力いただきました。ご入居者様が多数参加する事ができ楽しい時間を過ごされたおりました。

納涼祭や敬老会等の行事の際、開催日や内容の決定が遅くなったことでボランティア様への依頼も遅れ空いているボランティア様がなかなかみつからない状況がありました。また、ボランティア様の受け入れ後の評価が行えず課題や改善点が把握しきれないことがありました。

身体拘束委員会

今年度の目標は「身体拘束”ゼロ”」



平成28年度年間行事

介護部門

月	イベント	内容
4月	花見会	フロア毎に近隣公園等に出かけ、桜の花見をしました。
5月	こいのぼり見学	フロア毎に瀬又のこいのぼりを見学にいきました。
6月	紫陽花見学	フロア毎に泉自然公園へ紫陽花見学に行き、外食を楽しむことができました。
7月	納涼祭	2大行事のひとつ。7/17の16:45～ご家族やボランティアを招き納涼祭を行いました。
8月	食レク	花火大会や各フロアで食レクを行い召し上がっていただきました。
9月	敬老会	2大行事のひとつ。9/17 午前:式典 午後:催し物。ボランティアにもお願いし、楽しい一時を過ごしました。
	秋の行楽ツアー	千葉動物公園へいきました。
10月	自由レク	1F:緑化植物園 2F:ハロウィンパーティー 3F:食レク
11月	菊花展見学他	緑化植物園内散策、DVD鑑賞、コスモス見学等を楽しんでいただきました。
12月	クリスマス会	クリスマス会、DVD鑑賞、食レク等プレゼントを用意して皆さんに配りました。
1月	新年会他	職員による演奏会、食レク、DVD鑑賞等。
2月	節分	職員による観劇、演奏会、豆まきを楽しみました。
3月	ひな祭り他	7段かざりの雛人形の前で写真撮影。その他食レクを楽しみました。

※ その他もたくさんの食レクや外出レク等を計画し、入居者様と職員で外気に触れ、気分転換を図ることができたと思います。

看護部門

	指導・検診	委員会・施設内研修
4月	健康診断結果指導・厨房職員検便	感染症対策委員会
5月	厨房職員検便	
6月	厨房職員検便	
7月	厨房職員検便	感染症対策委員会
8月	厨房職員検便	感染症対策委員会第1回内部研修
9月	入居者様胸部レントゲン・介護職員健康診断・厨房検便	
10月	厨房職員検便・検診結果指導	
11月	厨房職員検便	感染症対策委員会
12月	厨房職員検便	感染症対策委員会第2回内部研修
1月	厨房職員検便	
2月	厨房職員検便	感染症対策委員会
3月	全職員健康診断・厨房検便	

※ 看護師・衛生管理者で計画・指導を行いました。

平成28年度 施設外研修一覧

研修場所	研修内容	参加職員
千葉市社会福祉研修センター	接 遇 マ ナ ー (新 任 職 員)	宮 崎 瞳
千葉市社会福祉研修センター	リーダーシップ・職場内コミュニケーション	海 保 操
千葉市社会福祉研修センター	認 知 症 介 護 実 践 者 研 修	阪 本 智 也
千葉市社会福祉研修センター	移 動 ・ 移 譲 の 技 術 (中 ・ 上 級)	天 野 絵 理 香
千葉市ハーモニープラザ内	高 齢 者 の 精 神 状 態 を 理 解 す る	大 原 夏 恵
千葉市社会福祉研修センター	認 知 症 介 護 基 礎 研 修	遠 藤 陵 子
ニッソーネット	喀 痰 吸 引 研 修	増 岡 ・ 高 橋
ニッソーネット	医 療 的 ケ ア 教 員 講 習 会	村 上 い く よ
千葉市社会福祉研修センター	排 泄 介 助 の 技 術	瀬 戸 口 諒
シルバーサービス振興会	評 価 者 ア セ ッ サ ー 講 習	鶴 澤 寿 美 子
千葉地域リハビリステーション広域支援センター	移 乗 動 作 勉 強 会	佐藤慶士・大原夏恵
千葉市社会福祉研修センター	移乗・移動の技術(初級)	宮 崎 瞳
千葉市ハーモニー内	事 業 推 進 委 員 会	佐 藤 利 彰
千葉市保健所	実 務 者 研 修	平 山 ・ 海 鋒
井上記念病院	記 念 式 典	佐 藤 ・ 板 倉
千葉市ハーモニーフサ内	認 知 症 介 護 基 礎 研 修	佐 藤 慶 士
千葉市社会福祉研修センター	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	高 橋 誠 也
千葉県看護協会	看 護 研 修 会	村 上 い く よ
千葉市社会福祉研修センター	面 接 技 術	佐 藤 利 彰
千葉市社会福祉研修センター	福祉職員キャリアパス対応生涯研修	高 鍋 隆 成
千葉市社会福祉研修センター	姿 勢 調 整 ・ 食 事 介 助 (中 ・ 上 級 編)	坂 本 智 也
千葉市社会福祉協議会	ボランティアコーディネーター研修	桑 田 文 代
千葉市社会福祉研修センター	排 泄 介 助 の 技 術 (初 級)	遠 藤 陵 子
千葉県経営者会館	腰 痛 予 防 対 策 講 習 会	海 鋒 ・ 村 上 ・ 鶴 澤
千葉市社会福祉研修センター	認知症介護基礎研修	木 村 葵
千葉市総合保険医療センター	感 染 症 予 防 講 習 会	薬 真 寺 景 子
千葉市ハーモニーフサ内	非 常 対 策 研 修 会	今 田 進
千葉市社会福祉研修センター	利用者の有する能力を見極める	増 岡 茂 宏
千葉市社会福祉研修センター	認 知 症 ケ ア の 考 え 方	佐 藤 慶 士
千葉県社会福祉研修センター	下 剤 に 頼 ら ない 排 便 ケ ア 研 修	看 護 ・ 介 護 ・ 栄 養 士
リクルート	GROW UP研修	高 橋 ・ 坂 本
千葉県社会福祉研修センター	成 年 後 見 制 度 研 修	海 鋒 幸 子
千葉県社会福祉研修センター	認 知 症 の た め の レ ク リ エ ー シ ョ ン 講 座	坂 本 智 也

研修場所	研修内容	参加職員
成田国際福祉専門学校	施設ケアマネ研修	板倉章
千葉県調理師会	調理師研修	佐野・出口・今関
千葉市あんしんケアセンター	高齢者虐待防止研修	瀬尾・永田
ホテルポートプラザ	生活リハビリ	佐藤・宮崎
千葉市社会福祉研修センター	介護の学校	瀬戸口・坂本・高橋
千葉市社会福祉研修センター	アセスメント・介護計画の基本	板倉章
千葉市社会福祉研修センター	高齢者のための薬学知識	佐藤慶士
千葉市社会福祉研修センター	アセスメントの本質と介護課程の展開	今田進
千葉市中央コミュニティセンター	認知症疾患連携協議会	佐藤利彰
千葉市社会福祉研修センター	栄養最新事情	穴山好恵
千葉市社会福祉研修センター	相手の思考フレームに荘対応・援助方法	佐藤利彰
千葉市社会福祉研修センター	有機的な多職種連携	板倉章
千葉市社会福祉研修センター	介護現場の事故防止対策の考え方	坂本智也

施設内研修

日付	委員会	研修内容	人数
平成29年2月22日	給食	サルコペニアと管理栄養について	16名
平成29年1月13日	褥瘡	失禁・湿潤と褥瘡の関係について	14名
平成28年9月27日	排泄	紙おむつの効果的な使い方	15名
平成28年8月23日	給食	脱水症について学ぶ	14名
平成29年3月17日	身体拘束	身体拘束 資質向上委員会	8名
平成29年2月1日	入浴	入浴介護について(DVD鑑賞) 資質向上委員会	31名
平成29年1月30日	褥瘡	失禁・湿潤と褥瘡の関係について 資質向上委員会	22名
平成28年12月15日	感染症	感染症(感染症胃腸炎)について 資質向上委員会	32名
平成28年11月9日	事故防止	高齢者施設のリスクマネジメント 資質向上委員会	27名
平成28年10月30日	口腔	口腔ケアの目的 資質向上委員会	8名
平成28年9月28日	防火管理	地震・火災・天災時の対応 資質向上委員会	21名
平成28年8月2日	感染症	救急・急病・怪我等職員に求められる能力 資質向上委員会	23名
平成28年7月1日	資質向上	介護に求められる処遇・マナー DVD鑑賞 資質向上委員会	26名
平成28年6月14日	感染症	職員で行えるリハビリ(リラクゼーション) 資質向上委員会	15名
平成28年5月23日	給食	摂食・嚥下障害と食事介助について 資質向上委員会	19名
平成28年4月4日	資質向上	職場を明るくするコミュニケーションの基本技法研修 資質向上委員会	全職員